

## 正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申しあげます（2022年4月15日）

### ■第2版 第1刷（2022年4月1日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第3章 人工呼吸中に遭遇する諸問題					
177	表3	イミペ <del>ナム</del>	イミペ <del>ナム</del>	※1参照	22/04/15
178	1行目	イミペ <del>ナム</del> 耐性	イミペ <del>ナム</del> 耐性		22/04/15
178	2行目	イミペ <del>ナム</del> 耐性	イミペ <del>ナム</del> 耐性		22/04/15
第4章 人工呼吸器を止める					
235	表1	HAMILTON G5, <del>S6</del>	HAMILTON G5, <del>C6</del>	※2参照	22/04/15

**図表**

※1

**表3 抗緑膿菌抗菌薬**

抗緑膿菌ベータラクタム系	セフェピム, セフトラジジム, セフォペラゾン, セフィデロコル
	イミペ <del>ナム</del> ネム, メロペ <del>ナム</del> ネム (註: ドリペ <del>ナム</del> ネムは緑膿菌肺炎において死亡率を増加させる危険性があるので推奨されない)*
モノバクタム系	アズトレオナム
抗緑膿菌キノロン系	シプロフロキサシン, レボフロキサシン
アミノグリコシド系	アミカシン, トブラマイシン, ゲンタマイシン
ポリミキシン系 (国内では広く使用されていない)	コリスチン, ポリミキシンB (十分な抗菌薬レベルが通常腎機能では得られず, 他に選択がないとき以外は推奨されない)

\* <http://www.fda.gov/Drugs/DrugSafety/ucm387971.htm>

※2

**表1 人工呼吸離脱に関する特殊モード（国内で使用可能なもの）**

	モード	メーカー	搭載機種	特徴
自発呼吸に同調した換気サポート	PAV+ (Proportional Assist Ventilation Plus)	コヴィディエン ジャパン	Puritan Bennett 840/980	患者とベンチレータの同調性を追求し、呼吸の回数、深さ、タイミングを自発呼吸に合わせてサポートする。また呼吸仕事量のわかるWOBバーが表示される
	NAVA (Neurally Adjusted Ventilatory Assist)	フクダ電子	Servo-i SERVO-U SERVO-n	非同調やファイティングの多発しているケース、抜管が困難な症例では顕著に効果を発揮する
自動ウィーニング	SmartCare/PS (SmartCare Pressure Support)	ドレーゲル ジャパン	Evita infinity V500 Evita V300	計算式を基にしたものではなく、臨床データを基にしたウィーニングシステム。患者呼吸状態を診断しながらPSレベルを調整し、SBT自発呼吸テストを行うことができる。CPAP/PSモードでウィーニングを行うケースで使用し不安定な呼吸状態のケースにも対応可能
	I-ASV (INTELLiVENT-Adaptive Support Ventilation)	日本光電	HAMILTON G5, <b>S6</b> C6	自発呼吸への適応の簡便さなどから術後の呼吸管理において力を発揮する。I-ASVではETCO <sub>2</sub> を目標範囲内に保つことが容易なことから脳損傷患者など脳外術後患者での呼吸管理においても有用